

ヒアリングの進め方について

1. テーマ

- (1) セッション1：子ども及び若者の支援に係る活動
- (2) セッション2：日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に係る活動
- (3) セッション3：地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動
- (4) セッション4：資金提供者、中間支援団体等からみた上記3分野の社会課題

2. ヒアリング事項

- | | |
|-------|--|
| 質問事項1 | 貴団体の活動（研究・資金提供・中間支援）を通じ、何が優先的に解決すべき社会課題と考えますか。 |
| 質問事項2 | そのうち、行政（国・地方公共団体）が対応することが困難な課題とは何だと考えますか。 |
| 質問事項3 | 休眠預金等活用法の理念を踏まえた場合、どのような手法で解決すべきと考えられますか。 |
| 質問事項4 | 団体から見た活動の成果・社会的インパクトをどのように考えていますか。 |

- 留意事項
- ・ 上記の質問事項につき、①総論・一般論は避けていただき、②具体的なエビデンス及び理由に基づいて説明してください（分量A4で2枚以内）。
 - ・ 単なる自団体の活動の紹介やPRは厳に慎んでください。

3. ヒアリングの進め方

- 1テーマ1セッションとし、1日4セッション。1セッション当たり1時間を基本とする。※セッション毎に入れ替え制
 - ① 各団体・有識者からプレゼンテーション（5～7団体。1団体・有識者あたり5分程度）
 - ② 質疑応答等（25～30分）
- 透明性確保の観点から、通常の審議会と同様、動画配信及び議事録を作成し、公開するものとする。

<1セッションあたりのヒアリングの進め方のイメージ案>

